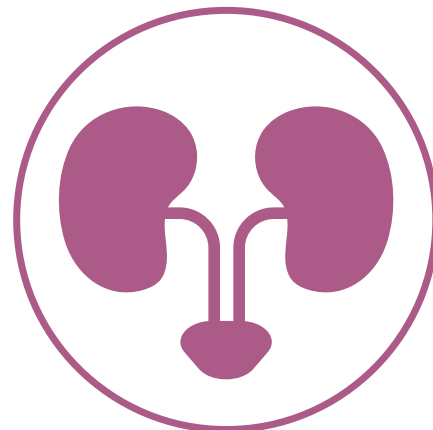




腎臓と泌尿器の疾患

猫の特発性膀胱炎



獣医師を訪れる猫の3~5%が猫下部尿路疾患 (FLUTD) であるとの研究報告があります。

FLUTD は、膀胱と尿道に影響を及ぼす疾患群で、ストレス、飲水量の少なさ、過体重、運動不足、屋内への閉じ込めなど、多くの要因があり、再発しやすい傾向があります。特発性膀胱炎は最もよく見られる FLUTD で、症例の 55-65% を占めています。栄養は、この複雑な疾患を管理し、再発のリスクを低減するための多角的な戦略の一部となり得ます。

キーメッセージ

- 治療食は、水分摂取量と尿量を増やし、より希釈された尿を促すことで、特発性膀胱炎の管理および再発リスクの低減に役立ちます。
 - 希釈尿では、膀胱の内壁を刺激する物質の濃度が低くなります。また、尿の量が増えれば排尿回数も増え、これらの物質が炎症を起こす前に排出されるようになります。
 - FLUTD の管理には、希釈尿の排泄を促すことが推奨されます。
- 特発性膀胱炎やその他の FLUTD の猫には、次のように水の摂取量を増やすことが有効な場合があります。
 - ウェットフードを与えるか、ドライフードに水を加えて与える。
 - ペットの好みに合わせて、異なるタイプの水分補給場所 (容器に入った静水、ファウンテンなどの流水) を用意し、タイプの異なる容器 (プラスチック製は避ける) を使用する。
 - 特別に調整し、栄養を強化した味付きの水分補給物を与える。

(次のページに続く)

キーメッセージ (続き)

- ストレスや FLUTD のリスク因子を軽減するような対策は突発性膀胱炎の猫にも与えることができ、次のようなものが含まれます。
 - パズルフィーダーを使ってフードを与えるなど、おもちゃを使って遊んだり、運動したりする時間を設ける。これにより、理想的な体調を維持し、その他のリスク因子が低下する可能性がある。
 - 複数の動物を飼っている場合は、十分な数の道具（給餌器、給水器、清潔な猫用トイレ、おもちゃ、空間など）を用意する。また、簡単にアクセスできる道具（シニア猫が出入りしやすい猫用トイレなど）を設ける。
- 猫では、ストレスに関連すると思われる不安への栄養学的管理の検討は限定されています。

追加のリソース

Sparkes, A. (2018). Understanding feline idiopathic cystitis. *Vet Record*, 182(17), 486. doi: 10.1136/vr.k1848

Hostutler, R. A., Chew, D. J., & DiBartola, S. P. (2005). Recent concepts in feline lower urinary tract disease. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 35(1), 147–170, vii. doi: 10.1016/j.cvsm/2004.08.006

Westropp, J. L., Delgado, M., & Buffington, C. A. T. (2019). Chronic lower urinary tract signs in cats: Current understanding of pathophysiology and management. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 49(2), 187–209. doi:10.1016/j.cvsm.2018.11.001

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。